

藤沢東ロータリークラブ創立 40 周年記念式典 平成 28 年 2 月 9 日(火)

会長挨拶

小柴智彦

私はこの記念すべき年度に会長を拝命することになりました小柴智彦です。本日はよろしく願いいたします。

市長、消防局局长をはじめ藤沢市役所の皆様。特に市長においては諸事お忙しい中、ご参席いただき、ありがとうございます。

そして、ガバナーをはじめ第 2780 地区の役員の皆様、第 3 グループ会長幹事の皆様、遠くからは友好クラブの塩釜東ロータリークラブの皆様、フィリピン、次年度ガバナー補佐のアーチ様と多くのご来賓をお迎えすることができました。そして藤沢東ロータリークラブ OB 会員の皆様、OB 会員のご家族の皆様、会員のご友人、会員の家族の皆様の、ご参席を賜り、このように盛大にクラブ創立 40 周年記念式典を挙げて来ますことは、私どもにとりまして誠に光栄であり、この上ない喜びでございます。会員一同、厚く、御礼を申し上げます。

当クラブは藤沢ロータリークラブをスポンサークラブとし、1976 年 2 月 10 日に創立し、これまでロータリー財団、米山記念奨学会への支援。国際社会そして地域社会へ数多くの奉仕活動を行ってまいりました。

さて、今年度 国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン氏は、今年度のテーマを「世界への、プレゼントになろう」と定められました。田中賢三ガバナーは『もっと役に立つ もっと面白いロータリー』をテーマかかげられました。

ロータリーも 110 年。世の中が大きく変化すると共に、国際ロータリーも変化してきました。

ロータリーをもっと知り、ロータリーのルールを知る仲間が集まってこそ『役に立つ 面白いロータリー』『効果的で楽しいクラブ』が出来上がるかと思えます。

真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうかを議論し合いながら理想とされるロータリー活動、ロータリークラブを目指して、今後も努力して行く所存で御座います。

本日もご参席賜りました皆様方はもとより、諸先輩方そして関係各位の皆様からのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして、はなはだ、簡単ではございますがご挨拶とさせて、いただきます。 本日は誠に有難うございました。